

2026年5月15日  
株式会社みずほ銀行

## ムニノバホールディングス株式会社ならびに 株式会社オリエントコーポレーションとの業務提携契約の締結、 および株式会社オリエントコーポレーション株式の譲渡について

株式会社みずほ銀行（頭取：加藤 勝彦、以下「みずほ銀行」）は、本日、ムニノバホールディングス株式会社（代表取締役社長：福田 光秀、以下「ムニノバ」）ならびに株式会社オリエントコーポレーション（代表取締役社長：梅宮 真、以下「オリコ」）との3社で業務提携契約を締結しました。また、みずほ銀行は、本日、保有するオリコの株式について、議決権の15%相当をムニノバに譲渡する株式譲渡契約を締結しました。

デジタル化の進展や顧客ニーズの多様化により、金融サービスに求められる価値は大きく変化しています。特に、個人のお客さまにおいては、ライフスタイルに応じた柔軟で利便性の高い融資・決済サービスへのニーズが高まっています。加えて、中堅・中小企業のお客さまにおいても、経費精算や支払業務の効率化、限られた人的リソースの中での業務効率化と内部統制の強化が重要な経営課題となっています。

かかる中、今般、みずほ銀行、ムニノバおよびオリコは、各社が提供してきた融資、保証、割賦、決済などのサービスについて、これからの時代においてもお客さまに選ばれ続けるためには、デジタル技術の活用による業務効率化と顧客体験の向上、先進的な与信ノウハウによるサービス品質の高度化が不可欠であるとの共通認識に至りました。

この共通認識の下、メガバンクとしての信頼性と幅広い顧客基盤を持つみずほ銀行、傘下の独立系消費者金融アイフル株式会社が培ってきた先進的な与信ノウハウと IT・デジタル技術を基盤に金融のみならず複数の事業領域を有するムニノバ、信販大手として培ってきた割賦・決済ノウハウや加盟店・提携先との幅広いネットワークを持つオリコが、3社のそれぞれの強みを最大限に活かし、ノンバンクと銀行取引のシームレスな接続の実現に向けて検討をしていくことに合意しました。

本業務提携のもと検討していく具体的な内容は以下を想定しており、更にこれらに限らず企業価値向上に資する協業について幅広く検討していきます。

- (1) IT・デジタル技術を活用した業務効率化・生産性向上
  - AIを含むIT・デジタル技術の活用により、業務全般（コンタクトセンターをはじめ、本社スタッフ業務など）の自動化・省力化を通じ各社の経営リソースの最適配置及び顧客対応品質を向上する

- (2) 与信審査の強化および効率化ならびに与信モデルの共同開発
- ・ 与信審査に関する知見・データ・ノウハウを相互活用し、与信審査プロセスの最適化、与信技術の高度化、与信判断の精度を向上する
- (3) 回収・督促業務における高度化および効率化
- ・ 回収・督促業務に関する知見・ノウハウを相互活用し、顧客属性や延滞状況に応じた督促手法の最適化、データ分析に基づく回収戦略の高度化、業務プロセスの見直しなどを実施する
- (4) その他の協業（ユーザー起点のシームレスな接続等）
- ・ 各社のデジタルノウハウを結集し、お客さまがより円滑にストレスなくサービスを利用できる導線を整備するなど、アプリを始めとする各種デジタルチャネルのUI/UXを向上する

ご参考：企業概要

株式会社みずほ銀行 <https://www.mizuhobank.co.jp/company/info/profile/index.html>

ムミノバホールディングス株式会社 <https://www.muninova.co.jp/about/about.html>

株式会社オリエントコーポレーション <https://www.orico.co.jp/company/corporate/about/>

以上